

研究発表会、盛会のうちに終了しました

11月8日に、本校の研究発表会を開催しました。対面とオンラインで342人の方にご参加いただき、盛会のうちに終了しました。

日頃から、授業を見て回り、生徒たちが授業に前向きに取り組む姿を見ているので、公開授業が上手くいくかどうかという心配は皆無でした。当日の授業を全て見て回りましたが、私の想定を遙かに超える生徒たちの活躍ぶりに、手前味噌ながら、改めて授業の質の高さを実感したところでした。来賓の皆様からも、多くのお褒めの言葉をいただいたところです。この調子で、さらに高めていきましょう。

研究発表会運営のお手伝いをいただいたPTAの皆様、ご参会いただきました来賓の皆様、参加者の皆様に、心より感謝申し上げます。



多くの参観者を前に発表

朝のキーボックスと気の利いた優しい附中生



とてもホッコリしたので、「気の利いた優しい附中生」を小説風に紹介します。

7時20分前。「おはようございます！」今日も、生徒たちが校長室をのぞき込んで声をかける。松島が楽しみにしている朝の光景だ。

毎朝、各教室一番乗りの生徒が、教頭室前キーボックスから教室の鍵を取り、教室の鍵を開けている。今朝も早く来た生徒たちが、キーボックス経由で教室に向かっていた。松島が廊下に出ると、階段前で3人の生徒が何やら相談事を。「どうしたの？」松

島が声をかけると、3年女子が「1年生の子が後ろから来てたので、1年生教室の鍵をキーボックスから持ってきたんです。でも、その子がいなくなって…😓」と苦笑いで答えた。「あらまあ…」松島が声をかけようとした時、3年女子と2年男子の二人は、「教室に行ったのかも」と教室の方へ駆けだした。しかし、1年生はいない。少々、困り顔の二人。興味本位で見ているだけの松島。「トイレじゃない？」と、真剣な表情で探す二人。お目当ての1年生はトイレにいて、無事、教室の鍵を渡すことができ、一安心。ニコニコ笑顔で教室に向かう二人に、ありがとうと声をかけた松島も、なぜか、ニコニコ笑顔が止まらなかった。(終)

いかがでしょう。二人の自然体の優しさが嬉しくてたまりませんでした。まさに、他者意識にあふれた「気の利いた優しい附中生」。こんな光景があちこちで見られる学校を目指していきましょう。

後期の課活動、新体制でスタートです

11月13日に、後期の第1回課活動が行われました。10/25号で紹介した新課長たちによる新体制でのスタートです。全ての課活動、学習リーダー会、生徒会執行部の活動の様子を見て回りました。新課長たちが張り切って会を進め、3年生の前課長たちがしっかりとサポートしてくれている様子を見ることができました。課によっては、常時活動の確認を行ったり、前期からの引き継ぎ案件の実施計画を考えたりと、早速動き出しているところもありました。各課が主体的に活動してくれることを、期待しています。



各課での活動